議第120号

特定事業契約の一部を変更する契約の締結に関し議決を求めることについて(富士市総合体育館等整備・運営事業)

令和4年2月22日に議第55号として議決を得た後、令和5年3月22日に議第56号として、同年12月5日に議第108号として、令和7年2月25日に議第50号として、それぞれ契約の一部を変更する議決を得た「富士市総合体育館等整備・運営事業」の特定事業契約のうち次のとおり契約の一部を変更する契約を締結したいので議決を求める。

令和7年11月18日提出

富士市長 小長井 義 正

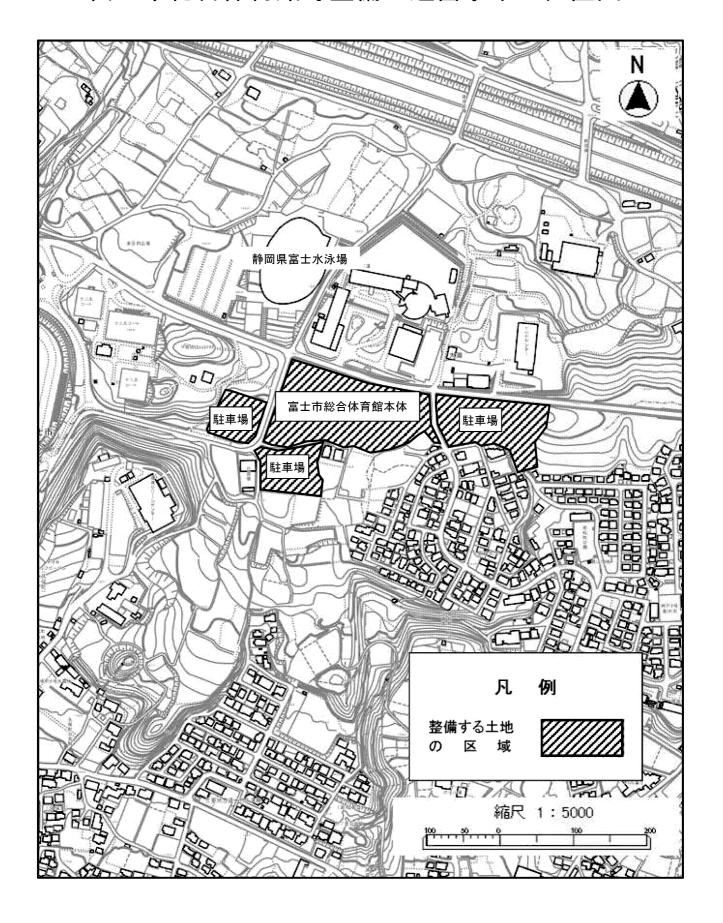
記

契約金額「11,735,885,035円」とあるのを「12,089,226,127円」に改める。

#### 変更理由

総合体育館等の引渡しに伴い割賦金利の金額が確定し、並びに管理棟の解体工事におけるアスベストの除去並びに市道大淵高山1号線及び管理棟南側園路の拡幅工事を追加するため

# 富士市総合体育館等整備 • 運営事業 位置図



#### 議第121号

財産の無償譲渡に関し議決を求めることについて (富士市立広見保育園に係る建物及び工作物の無償譲渡)

富士市立広見保育園の運営を民間移管することに関し、次により建物及び工作物の無 償譲渡をしたいので、地方自治法(昭和22年法律第67号)第96条第1項第6号の 規定により議決を求める。

令和7年11月18日提出

富士市長 小長井 義 正

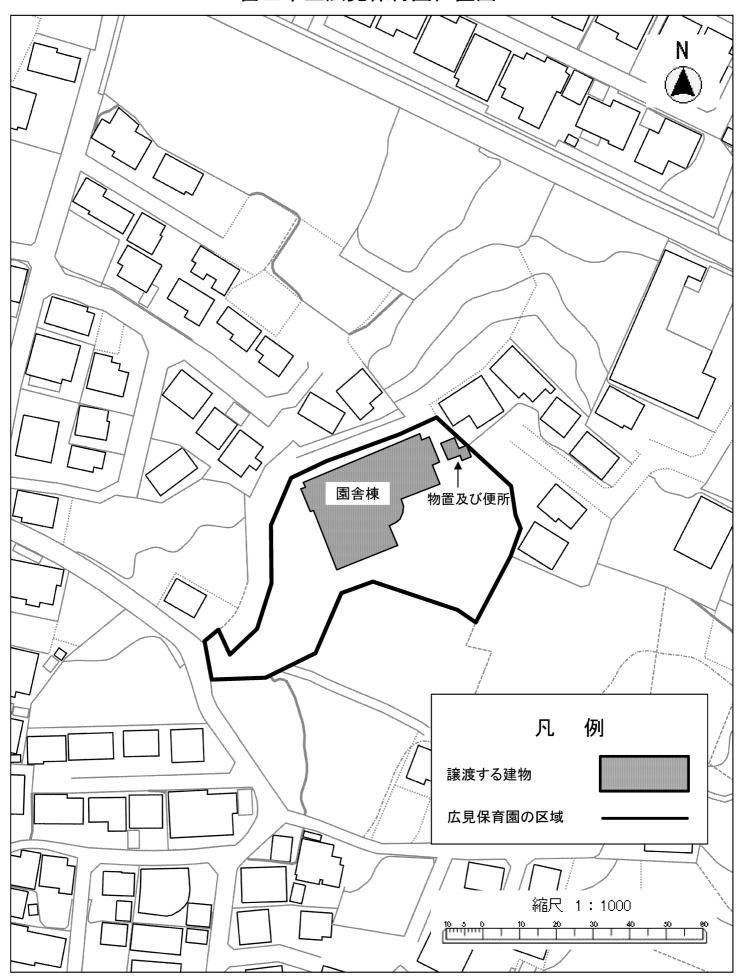
記

- 1 建物及び工作物の所在 富士市大淵字荻ノ原36番地8ほか
- 2 建物及び工作物の概要 別紙のとおり
- 3 無償譲渡の相手方 富士市原田1742番地の1 学校法人田中学園理事長 田 中 邦 昌

## 物件目録 建物及び工作物

No.	種類	構造	延床面積(m²)
1	園舎棟	鉄筋コンクリート造2階建	885. 61
2	物置及び便所	鉄筋コンクリート造平家建	23. 25
3	工作物一式	_	_
	合	計	908. 86

## 富士市立広見保育園位置図



議第122号

財産の無償譲渡に関し議決を求めることについて (富士市立中野保育園に係る建物及び工作物の無償譲渡)

富士市立中野保育園の運営を民間移管することに関し、次により建物及び工作物の無 償譲渡をしたいので、地方自治法(昭和22年法律第67号)第96条第1項第6号の 規定により議決を求める。

令和7年11月18日提出

富士市長 小長井 義 正

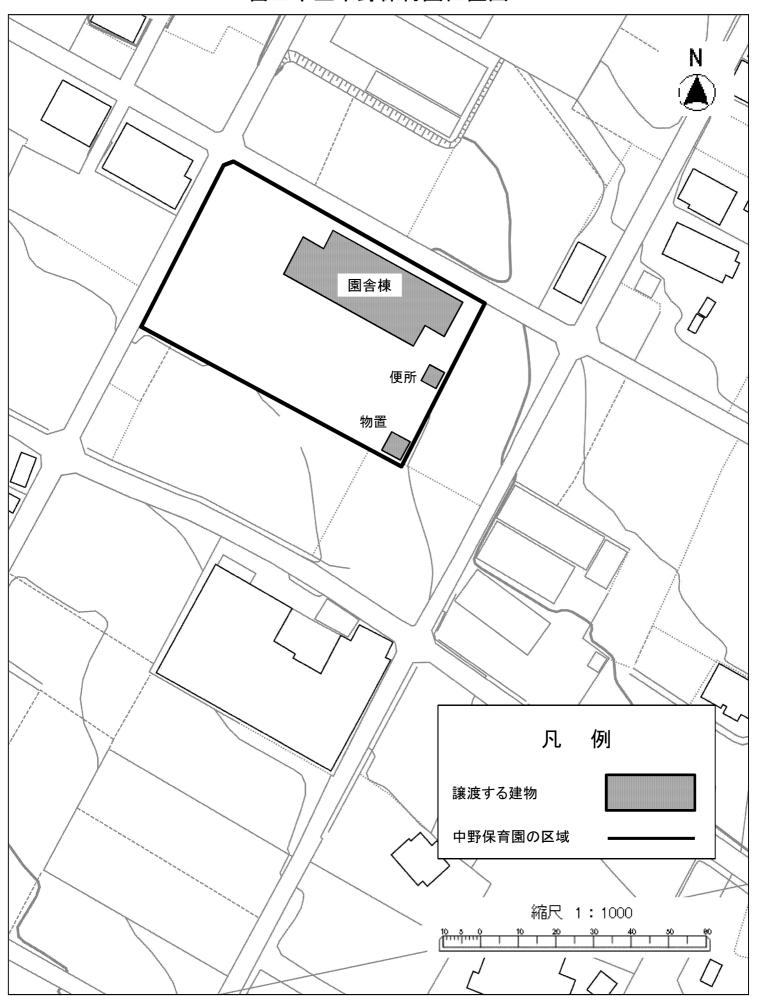
記

- 1 建物及び工作物の所在富士市大淵字狐窪2813番地3ほか
- 2 建物及び工作物の概要 別紙のとおり
- 3 無償譲渡の相手方 富士市大淵2964番地の1 学校法人藤田学園理事長 藤 田 道 信

## 物件目録 建物及び工作物

No.	種類	構造	延床面積(m²)			
1	園舎棟	鉄筋コンクリート造平家建	502. 50			
2	便所	鉄筋コンクリート造平家建	6. 76			
3	物置	鉄筋コンクリート造平家建	16. 00			
4	工作物一式	_	_			
合 計 52						

## 富士市立中野保育園位置図



#### 議第123号

財産の無償貸付に関し議決を求めることについて (富士山麓環境共生事業に係る建物及び工作物の無償貸付)

富士山麓環境共生事業用地の利用に関し、次により建物及び工作物の無償貸付をしたいので、地方自治法(昭和22年法律第67号)第96条第1項第6号の規定により議決を求める。

令和7年11月18日提出

富士市長 小長井 義 正

記

- 1 建物及び工作物の所在 富士市大淵字丸火東11702番地3ほか
- 2 建物及び工作物の概要 別紙のとおり
- 3 貸付の相手方 東京都新宿区西新宿3丁目19番2号 株式会社NTT Landscape 代表取締役 木 下 健二郎
- 4 貸付の期間 令和8年1月1日から令和27年12月31日まで

## 物件目録 建物及び工作物

No.	種類	構造	延床面積(m²)
1	店舗及び事務所	鉄筋コンクリート・鉄骨造2階建	2, 017. 49
2	車庫	鉄骨造平家建	564. 39
3	休憩所及び倉庫	鉄筋コンクリート・鉄骨造2階建	470. 91
4	倉庫	鉄骨・鉄筋コンクリート造平家建	422. 95
5	倉庫及び休憩所	鉄骨造2階建	414. 03
6	店舗	鉄骨造平家建	57. 46
7	車庫	軽量鉄骨造平家建	49. 58
8	売店	木造平家建	38. 83
9	プロパン庫	コンクリートブロック造平家建	16. 10
10	機械室	コンクリートブロック造平家建	8. 40
11	物置	コンクリートブロック造平家建	6. 24
12	機械室	コンクリートブロック造平家建	5. 24
13	その他工作物一式	_	_
	合	<u>≒</u>	4, 071. 62

#### 議第124号

財産の処分に関し議決を求めることについて (金地金及びプラチナ地金処分)

次により金地金及びプラチナ地金を処分したいので、富士市議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例(昭和41年富士市条例第16号)第3条の規定により議決を求める。

令和7年11月18日提出

富士市長 小長井 義 正

記

1 処分する動産の表示

金地金 23,999.94グラム(別紙のとおり)

プラチナ地金 5,000.00 グラム (別紙のとおり)

2 売払価格

処分する動産を売り払う日における処分先が定める当該動産1グラム当たりの公表 買取価格(品位等に応じ調整が必要な場合にあっては、その調整した値)に、当該動 産の重量を乗じて得られる額

3 処分先

東京都中央区日本橋茅場町2丁目6番6号

田中貴金属工業株式会社

代表取締役社長執行役員 田 中 浩一朗

## (参考)

2の売払価格を令和7年10月31日現在の公表買取価格を用いて算出した場合は、 566,993,712円となる。

## 金地金及びプラチナ地金一覧

品名	数量
金地金(田中貴金属工業製)1,000g	3本
金地金(田中貴金属工業製) 500 g	20本
金地金(徳力本店製) 5 0 0 g	3本
金地金(JOHNSON MATTHEY製)500g	3本
金地金 (スイスバンク製) 500g	14本
金地金(伊勢丹製) 500g	1本
金地金(伊勢丹製)499.94g	1本
プラチナ地金(田中貴金属工業製)1,000g	1本
プラチナ地金(田中貴金属工業製) 500 g	4本
プラチナ地金(オリエンタルゴールド製)500g	4本

議第125号

財産の処分に関し議決を求めることについて (プラチナ地金処分)

次によりプラチナ地金を処分したいので、富士市議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例(昭和41年富士市条例第16号)第3条の規定により議決を求める。

令和7年11月18日提出

富士市長 小長井 義 正

記

1 処分する動産の表示プラチナ地金 4,000.00グラム(別紙のとおり)

2 売払価格

処分する動産を売り払う日における処分先が定める当該動産1グラム当たりの公表 買取価格(品位等に応じ調整が必要な場合にあっては、その調整した値)に、当該動 産の重量を乗じて得られる額

3 処分先

東京都千代田区外神田5丁目3番2号

日本マテリアルビル

日本マテリアル株式会社

代表取締役社長 森 田 伸 勇

## (参考)

2の売払価格を令和7年10月31日現在の公表買取価格を用いて算出した場合は、 34,244,000円となる。

## プラチナ地金一覧

品名	数量
プラチナ地金(クレディ・スイス製)1,000g	3本
プラチナ地金(バルカンビ製)1,000g	1本

### 議第126号

公の施設の指定管理者の指定に関し議決を求めることについて (富士市地区まちづくりセンター)

次の公の施設の指定管理者を指定することにつき、地方自治法(昭和22年法律第67号)第244条の2第6項の規定により議決を求める。

令和7年11月18日提出

富士市長 小長井 義 正

記

公(	公の施設の名称			称	富士市今泉まちづくりセンター
指定管理者となる団体の名称			団体の	名称	一般社団法人今泉地区まちづくり協議会
指	定	の	期	間	令和8年4月1日から令和12年3月31日まで

公(	公の施設の名称			称	富士市広見まちづくりセンター
指定	指定管理者となる団体の名称			名称	一般社団法人広見地区まちづくり協議会
指	定	0	期	間	令和8年4月1日から令和12年3月31日まで

公の施設の名称			の 名	称	富士市富士南まちづくりセンター
指定管理者となる団体の名称			団体の	)名称	一般社団法人富士南地区まちづくり協議会
指	定	の	期	間	令和8年4月1日から令和12年3月31日まで

#### 議第127号

公の施設の指定管理者の指定に関し議決を求めることについて (富士市救急医療センター)

次の公の施設の指定管理者を指定することにつき、地方自治法(昭和22年法律第67号)第244条の2第6項の規定により議決を求める。

令和7年11月18日提出

富士市長 小長井 義 正

記

1 公の施設の名称 富士市救急医療センター

2 指定管理者となる団体の名称 一般社団法人富士市救急医療協会

3 指 定 の 期 間 令和8年4月1日から令和13年3月31日まで

#### 議第128号

公の施設の指定管理者の指定に関し議決を求めることについて (富士市新環境クリーンセンター循環啓発棟)

次の公の施設の指定管理者を指定することにつき、地方自治法(昭和22年法律第67号)第244条の2第6項の規定により議決を求める。

令和7年11月18日提出

富士市長 小長井 義 正

記

1 公の施設の名称 富士市新環境クリーンセンター循環啓発棟

2 指定管理者となる団体の名称 株式会社クリーン工房

3 指 定 の 期 間 令和8年4月1日から令和13年3月31日まで

議第129号

共立蒲原総合病院組合規約の変更について

地方自治法(昭和22年法律第67号)第286条第2項の規定により共立蒲原総合病院組合規約の一部を別紙のとおり変更したいので、同法第290条の規定に基づき議決を求める。

令和7年11月18日提出

富士市長 小長井 義 正

### 共立蒲原総合病院組合規約の一部を変更する規約

共立蒲原総合病院組合規約(昭和40年静岡県指令地第30号)の一部を次のように変更する。

別表を次のように改める。

別表(第13条関係)

経	費区分	関係市	負担割合
第3条	第1号関係	静岡市	次の1から3までにより算出した数を合計して得た数
の事業			を100で除して得た数(当該数に小数点以下第3位
に要す			の数がある場合は、当該数を四捨五入して得た数)
る経費			1 人口割 分賦金を支弁する年度の前年の4月1日
			(以下この表において「同日」という。) における静
			岡市の住民基本台帳(住民基本台帳法(昭和42年
			法律第81号)第5条の住民基本台帳をいう。以下
			この表において同じ。) に基づく人口(以下この表に
			おいて「静岡市の人口」という。)を静岡市の人口と
			同日における富士市の住民基本台帳に基づく人口
			(以下この表において「富士市の人口」という。)を
			合計した数(以下この表において「2市の人口」と
			いう。) で除して得た数に40. 5を乗じて得た数
			2 利用者割 分賦金を支弁する年度の前々年度にお
			ける共立蒲原総合病院を受診した静岡市に住所を有
			する外来患者及び入院患者の延べ人数(以下この表
			において「静岡市の患者数」という。)を静岡市の患
			者数と同年度における共立蒲原総合病院を受診した
			富士市に住所を有する外来患者及び入院患者の延べ
			人数(以下この表において「富士市の患者数」とい
			う。)を合計した数(以下この表において「2市の患
			者数」という。)で除して得た数に39.9を乗じて

		得た数
		3 均等割 6.45
	富士市	次の1から4までにより算出した数を合計して得た数
		を100で除して得た数(当該数に小数点以下第3位
		の数がある場合は、当該数を四捨五入して得た数)
		1 人口割 富士市の人口を2市の人口で除して得た
		数に40.5を乗じて得た数
		2 利用者割 富士市の患者数を2市の患者数で除し
		て得た数に39.9を乗じて得た数
		3 所在地割 6.7
		4 均等割 3.225
	富士宮市	次に掲げる数を100で除して得た数の小数点以下第
		3位の数を四捨五入して得た数
		均等割 3.225
第2号及び	静岡市	次の1及び2により算出した数を合計して得た数を
第3号関係		100で除して得た数(当該数に小数点以下第3位の
(平成12		数がある場合は、当該数を四捨五入して得た数)
年3月24		1 高齢者割 静岡市の人口のうち65歳以上の人口
日及び平成		を2市の人口のうち65歳以上の人口で除して得た
13年3月		数に50を乗じて得た数
26日に借		2 均等割 31.32
り入れた企	富士市	次の1及び2により算出した数を合計して得た数を
業債に対す		100で除して得た数(当該数に小数点以下第3位の
る利息に係		数がある場合は、当該数を四捨五入して得た数)
る経費に限		1 高齢者割 富士市の人口のうち65歳以上の人口
る。)		を2市の人口のうち65歳以上の人口で除して得た
		数に50を乗じて得た数
		2 均等割 15.66
	富士宮市	次に掲げる数を100で除して得た数の小数点以下第
		3位の数を四捨五入して得た数

	均等割 3.02
上記以外の経費	関係市の協議により定める。

備考 関係市の負担割合の合計が、1に満たない場合にあっては小数点以下第3位の数を四 捨五入して繰り上がらなかった市のうちその数が最も大きいものの負担割合に0.01を 加えるものとし、1を超える場合にあっては小数点以下第3位の数を四捨五入して繰り上 がった市のうちその数が最も小さいものの負担割合から0.01を減ずるものとする。

#### 附則

- 1 この規約は、地方自治法(昭和22年法律第67号)第286条第2項に規定する関係地 方公共団体の協議が成立した日から施行する。
- 2 この規約による改正後の共立蒲原総合病院組合規約別表(以下「改正後の別表」という。) の規定は、令和7年度分の分賦金から適用する。
- 3 令和7年度分の分賦金の支弁に当たっては、改正後の別表中「分賦金を支弁する年度の前年の4月1日」とあるのは「令和7年4月1日」と、「分賦金を支弁する年度の前々年度」とあるのは「令和6年度」とする。